



【吉田産業―八学大―第3ヒリオド12分22秒、吉田産業は坂本溪太（左から3人目）が決め、9―4とする  
〓テクノルアイスパーク八戸

# 吉田産業 11得点快勝 リーグ開幕

第60回  
デーリー東北新聞社杯  
八戸市実業団  
アイス  
ホッケー

アイスホッケーのデーリー東北新聞社杯第60回八戸市実業団リーグ戦が17日、テクノルアイスパーク八戸で開幕した。来月4日まで6チームが総当たりで戦い優勝を争う。初日は吉田産業が第1ヒリオド（P）に5点を先行し、追い上げる八学大を振り切つて11―4で白星を挙げた。

吉田産業は開始わずか8秒で坂本溪太のゴールで先制。リンクを広く使ったパスワークで流れを引き寄せると、12分過ぎから立て続けに4点を奪った。第2Pに八学大の追い上げを許したが、第3Pは45秒の堀内暢の得点から流れを引き戻し、最終的に2桁得点を奪つて快勝した。

一方、八学大は吉田産業の堅い守備に苦戦。パワープレーや工藤聖矢の個人技で得点を奪い意地を見せたが及ばなかった。第2日の18日は、同会場でHachinohe Club―八戸ブルースターズが行われる。（取材班）

## 2連覇へ好発進

〓吉田産業は圧倒的な攻撃力を見せ、2連覇へ好発進した。先制弾を含む3得点のFW坂本溪太は「スタートで得点できたのが大きかった。良い緊張感を持つて臨めた」と大きくうなずいた。第1ヒリオド（P）のフェースオフ直後のワンプレー目。坂本は味方から受けたバックを保持し、ゴールへ一直線に向

かると、目の覚めるような一撃で先制点を挙げた。「第1セットでとにかく点がほしかった」と坂本。これでチームは勢いに乗り、大量11点を奪つて快勝した。不要な失点などが見られたが、シーズンが始まったばかり。坂本は「1試合も気の抜ける試合がない。一つ一つ前に進みたい」と意欲を見せた。